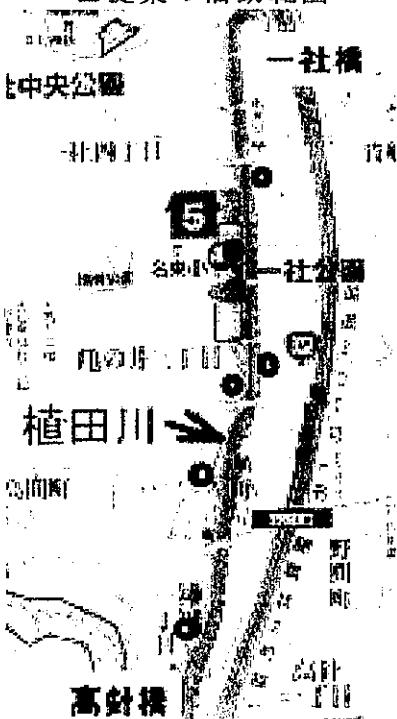


平成24年5月24日

まちづくり活動助成 「地域“魅力”アップ部門」「はじめの一歩」部門
まちづくり活動提案書

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

提案名	より魅力をアップした植田川を区民の憩いの場としてもっと利用を拡げたい。		
団体名	めいとうかえるプロジェクト		
提案の活動を行う地域	名東区を流れる植田川の一社橋から下流の高針橋の両岸		
提案内容	<p>提案の活動を行う地域の植田川の両岸には、西側に春の桜、東側に秋の紅葉が植えられており、四季を通じて区民に親しまれているが、香流川や山崎川の様に、河川敷が無く、区民が直接水に触れる出来ない。</p> <p>めいとうかえるプロジェクトは、活動開始時のアンケート調査から、1年目にワークショップによる植田川の成り立ちを知ってもらい、2年目にかわらばんの設置により、生き物や護岸工事について掲示した。</p> <p>今年度は、3年目に入り、現在あるベンチを整備し、新しくベンチを設置する事で、区民がより一層植田川を楽しむ憩いの場所となるよう、名東区政運営方針である“カワラナデシコ”の植栽にも取り組む。</p> <p>■ 提案の活動範囲 ○ 青い丸印は既設のベンチ</p>    <p>老人ホーム前 広いが、木製のベンチ1つとコンクリート製のベンチが2つ使いにくそう。</p>  <p>高針橋の近く 桜の木がない 金属製のベンチが3つ、ベンキがはげ、座りにくそう。</p> <p>○ 赤い丸印は増設のベンチの予定候補地</p>  <p>昇降階段前 散歩の夫婦や 近くのマンションの若い親子達 がゆっくり休めるように！</p>		
活動期間	平成24年4月～平成25年3月	助成金交付申請額	36万円

2 提案内容について

「1 提案の内容」について、以下の4つの視点で具体的に活動内容をご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か
--------------	--

(提案活動の必要性について上記観点から分かり易くご記入下さい。)

- ・活動を始めた時に、区民の声を聴くアンケート調査から、植田川に欲しいなと思うものに、「生き物の看板が欲しい」「ベンチがあれば」「もっと花を植えたらいい」という声があった。
- ・植田川をもっと区民が楽しめる川にしたいと、今までに、①平成22年度は、植田川を区民に知ってもらう為に、親子によるワークショップ。
②平成23年度は、名東小学校の協力による植田川にかわらばんを取り付ける活動をしてきた。
- 今年は、取り組んで3年目になり、区民がより気楽に散歩ができ、ショット一息ゆつくり休憩できるベンチと花を増やし、区民の憩いの場とする
- ・もっと皆が利用できる既設のベンチを改良・整備し、4か所に新ベンチを設置する。
- ・今年度の区政運営方針の中で、まちづくり推進室・名東土木事務所が東山グリーンウェイ事業などに取り組んでいるが、植田川にも名東区の花“カワラナデシコ”の植栽活動の里山プランター制度を通じて、区民の交流の場づくりとして進める。

審査基準② 独創性	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか
--------------	---

(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

- ・ベンチを増設することへの、地域への配慮をする。近隣の住民・各学区の連絡協議会などで意見交換し、住民の希望により応えるものとする。
- ・道路を管理する名東土木事務所のベンチ設置・整備を事前調整して了解を得る。
- ・既存のベンチをどう改良・整備したらよいか、どんな新ベンチがよいか?使う立場の住民などにヒヤリングをする。
- ・周囲との景観の調和や安全性に強く配慮したものとする。
- ・可能であれば、間伐材を利用した、区民手作りのベンチとし、植田川への関心を高めたい。
- ・増設のベンチは同じものを設置せず、設置場所にマッチした物とする。
- ・寄付者があればそのベンチに命名権を与え、活動の協力に応える。
- ・まちづくり推進室・名東土木事務所との新しい連携活動で相互理解をより深める。

審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が具体的になっているか ・事業予算は妥当か
--------------	---

時期	活動内容
平成24年4月	今年度の活動基本計画原案作成
5月	名東土木事務所堀副所長と協議/プロジェクトメンバーと現場再確認
6月	貴船・名東・高針の学区地域連絡協議会代表者との協議及び説明会開催
7月	植田川周辺の住民へのヒヤリング又はアンケート調査/ベンチの選定開始
8月	既設ベンチの整備方針検討/新設ベンチの設置場所・種類や方法の決定
9月	学区地域連絡協議会へ報告会/カワラナデシコの里山プランター勧誘活動
10月	既設ベンチの改修作業実施/新設ベンチの設置
	カワラナデシコの里山プランターの設置
11月	植田川クリーンサークル活動の日に合わせて、“New植田川竣工式”開催
12月	ベンチ周囲の点検と利用状況の調査 No.1
平成25年1月	
2月	ベンチ周囲の点検と利用状況の調査 No.2
3月	今回の活動レビュー会開催

※里山プランター:カワラナデシコの里親になっていただき、その手入れをお願いする人

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

活動項目	内訳		金額(円)
既設ベンチ整備	2か所	・名東土木事務所との事前協議を実施し、区民参加で改修する。	50,000円
新ベンチ設置	4か所	・フラット型のベンチとする。 単価工事費含む	360,000円
カワラナデシコ植栽	10か所	・里山プランター制度として、ベンチの近くに設置	30,000円
その他諸経費		・連絡・交通・事務などの費用	10,000円
計	都市センター助成金 自己資金90,000円(会費:10,000円 寄付金等:80,000円)		450,000円

審査基準④ **今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
発展性**

(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

- ・まちづくり推進室・名東土木事務所が、区政運営方針で取り組んでいる名東区の花“カワラナデシコKADAN”と連携して、植田川の花づくりを継続推進する。
- ・もっと植田川を区民の皆さんに知ってもらう為に、“中日新聞”“名東ホームニュース”“名東区咲楽”などのパブリシティとタイアップし、PR活動を展開し、魅力アップした植田川に来ていただき憩いの場として実感してもらう。
- ・植田川をテーマに、写生大会・写真コンテストなどを企画し、区民の参加を促す。
- ・植田川の下流の天白区や香流川の清掃活動をしている皆さんと、都市に於ける川のあり方などについて、相互の情報交換の会議体を定期開催するように区役所に提案し、コラボレーションを推進できるようにする。
- ・今回の活動完了後の利用状況調査から、得たこと、改善すべきことを次年度の活動に反映する。

審査基準⑤ **提案内容につながる地域での活動実績を有しているか
(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等をご記入ください。)**

活動実績 **と主体性**

団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。

① めいとうかえるプロジェクトは

- ・平成21年8月に名東区役所まちづくり推進室が公募した、めいとうまちづくりスタッフを母体に、めいとうまちづくりフォーラムが設立され、平成22年1月に「めいとうかえるプロジェクト」の活動がスタートした。
- ・活動を進めるにあたっては、まちづくり推進室・名東土木事務所の協力を得ながら、貴船・名東・高針3学区の連絡協議会での意見や提案などを収集し、住民の為になるように努めている。
- ・副代表の安達さんが、会長として7年前から活動している「植田川クリーンサークル」と協業を図って進めている。

② めいとうかえるプロジェクトの平成22・23年度の主な活動

■ 平成22年度→植田川を区民に知ってもらう。

- ・3月27日(植田川周辺)5月9日(ダイエー・メイトピア)で区民の植田川に対するアンケート調査。約90名
- ・8月18・19・25日名東小学校・名東コミセンで、親子の植田川ワークショップ開催(親子24名参加)中日新聞やCATVスターイヤットなどに取上げられた。
- ・11月6日植田川クリーンサークル活動に参加 参加者:約90名

■ 平成23年度→植田川にかわらばんを取り付けよう。

- ・9月12・13日名東小学校4年生147名が、かわらばんの原画作成。
- ・“植田川かわらばんの協定書”をまちづくり推進室+名東土木事務所と締結し、11月5日かわらばん竣工式 区民約200名参加。終了後クリーンサークル活動